

# 河川改修と内水氾濫対策

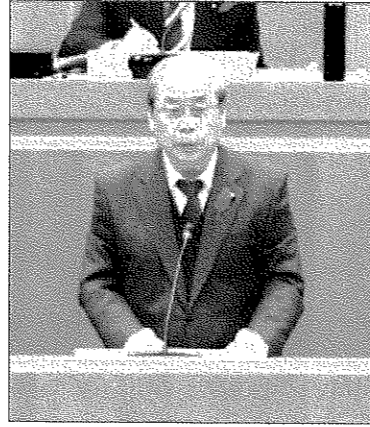
## 住民は住み慣れた地域での生活を希望 内水の低減効果5cm〜40cmで低い

大谷市議は3月議会の代表質問で、花月川の河川改修計画の住民説明会で出された、安心できる地区内移転を求める声や内水氾濫の低減効果が低いという声を届け、対策や改善を求めました。



昨年12月下旬、吹上町説明会

12月下旬、吹上・丸山地区での説明会では高齢者が多いだけに、知らない地区での転居は難しく、住民は住み慣れた地域での移転を望んでいました。国と市は具体的にどう考えているのかを質問しました。土木建築部長は「集団で移



転できるまとまった土地がないので、あらかじめ土地を準備することは難しい。用地調査と保障が分かれれば、個々の地権者の意向が把握できる。空き家空き地に限らず、地区内移転の方法については、情報収集しながら丁寧な対応を行いたい」と述べ、具体的な対応策については答弁がありませんでした。

### 内水氾濫対策について

国と連携し内水氾濫をなくす対策についてどのように考えますか。答は「可能な対策を判断する」と答弁しました。

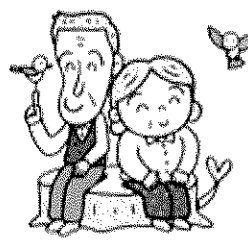
# 生活保護費減額なし

新型コロナ対策

## 10万円の給付を収入とせず

生活保護世帯に10万円の国からの給付が、収入に認定されると生活保護費は減額されてしまいます。この問題では、生活保護問題対策全国会議が20日、厚生労働相に要望を提出し、収入と認定しないように求めています。(21日付、しんぶん「赤旗」日刊紙から転載)

厚生労働省は21日、新型コロナの感染対策である1人10万円一律給付に関する



# JR日田彦山線の復旧問題

## 住民説明会と今後の取組は

JR九州は、2県3自治体や住民要望を無視して3案(1・6億円の自治体負担案、BRTバス案、バス案)を出し、住民と自治体に選択を迫っています。3月議会の代表質問で大谷市議は、JR九州の国会での約束を反故にする態度を厳しく批判しながら、住民説明会を受けて市はどうするのか質問しました。

市長は「第5回の復旧会議を深めることで参加者から了解を得た」と答弁しました。



挨拶する原田市長